

西播

- たつの支局
TEL...0791-62-0007
FAX...0791-62-3164
- 相生支局
TEL...0791-22-0345
FAX...0791-23-6414
- 赤穂支局
TEL...0791-42-2535
FAX...0791-42-9450
- 宍粟支局
TEL...0790-62-0775
FAX...0790-62-9800
- 佐用支局
TEL...0790-82-2459
FAX...0790-82-2685

新 戸 申

(第3種郵便物認可)

赤穂市役所東側の広場では11日、東日本大震災発生から6年に合わせ、宮城県気仙沼市産の塩で味付けしたラーメンを販売し、復興を支援する催しがあった。参加者は温かなラーメンを味わい、被災地に思いを寄せた。

播州赤穂塩ラーメン組合などが企画し、今年で5回目。売り上げは、気仙沼市階上観光協会に寄付する。

販売した「3・11絆ラーメン」は、津波被害を受け、再建された気仙沼市の製塩体験施設で作られた塩と、赤穂市産の塩をブレンドして味付けした。この日、「3・11」をかたどった竹灯籠が並んだ広場で、市民らが黙とうをささげ、「花は咲く」を合唱。その後、同組合がラーメンを一杯300円で311食販売し、子どもらが列をつくった。赤穂市消費者協会などの団体も、豚汁やせんざいを振る舞った。

絆ラーメン 友好の証し

販売で支援の復興 気仙沼産の塩で味付け



被災地・気仙沼市を応援する「絆ラーメン」
赤穂市加里屋

毎年家族でラーメンを食べに来るといふ姫路市立城陽小4年の西川菜優さん(10)は「地震の記憶はほとんどないけど、ラーメンを食べると震災を身近に感じられた。来年も来たい」と話した。

(西竹唯太郎)

灯籠に思いを込めて

宍粟市一宮町閭賀の一宮保健福祉センターでは11日、東日本大震災の追悼行事があった。地元の人々が、地震発生時刻に合わせて黙とうをささげた。

一宮ボランティア連絡協議会が、震災から2年後の2013年から毎年開いている。

この日は、センター内で非常用保存食「アルファ米」の炊き出しを体験し、試食。その後、中庭に移動し、「3・11」の文字の形に並んだ、ペットボトルで作った灯籠約500個に火をともした。文字のそばには、「希望」や「笑顔」など被災地に伝えたいメッセージを花の形に切った紙に書いて飾った。

地震発生時刻の午後2時46分の時報に合わせて、参加者は灯籠を囲んで一斉に黙とう。その後、灯籠を囲んで黙とうをささげる参加者ら。宍粟市一宮町閭賀

「花は咲く」と「上を向いて歩こう」を全員で歌った。

同協議会の進藤弘子会長(75)は「ささやかな活動だけど、被災地に思いを届けられたら」と話していた。

(三宅晃寛)

